

令和元年度第2回松浦市まち・ひと・しごと創生協議会 会議録

日 時：令和元年11月27日（水）

場 所：松浦市文化会館小ホール

事務局 資料1を説明

第1期の総合戦略に掲げている人口ビジョンについては、見込みであるが概ね達成しているので、第2期の人口ビジョンについても、目標設定はそのまましていきたい。

しごとの創生は、達成。ひと・まちの創生は未達成の状況である。ひとの分野が成果が出ていないため、ひとの分野の施策の強化、人口減少時代へ対応できる施策を実施する。また、新しい視点の導入などを第2期総合戦略で盛り込んでいる。

資料2を説明

まちの創生に新たに「(3)対話によるまちづくりを推進します」を追加している。これは総合計画でも、協働によるまちづくりを掲げており追加している。

議長 いま事務局から説明があったが、人口ビジョンについては、第1期の設定目標を踏襲したいと考えている。第1期の目標と実績が大きく変わらないので、大きく目標を変えることは必要ないと判断している。

方向性については、記載のとおりである。

次の具体的な施策の内容を確認してもらいたい。

事務局 資料2続きを説明

〔基本目標1 しごとの創生 について〕

A委員 P.10 企業誘致等による雇用者数とあるが、どのような取り組みを考えているのか。

地域経済活性化課 現在、誘致を推進している工業団地として、東部工業団地と堂山工業団地がある。規模としては、それぞれ1社の誘致を考えている。自動車産業関連の企業で雇用者30人程度を想定している。

B委員 P.12 福島地域・鷹島地域の数値目標の設定はどのようにされているのか。

地域経済活性化課 福島地域においては、全島公園化計画を策定しており、その計画に設定されている交流人口の目標値をKPIとしている。鷹島地域においては、実績ベースで目標値を設定している。

C委員 P.7 市内従業者数は工業統計調査数による数値目標を掲げているということだが、製造業が対象となっているのか。

事務局 製造業を対象とする工業統計調査が、毎年、行われている調査になるので、数値

目標を計るため、工業統計調査を数値目標にしている。

- B委員 農林課 P.8 AI、IoTとあるが具体的にはどのようなものを想定されているのか。農業部門において、無人トラクター、ドローンなど使われてきておりそのようなものを想定している。また、現在、牛の体温を測定して人工授精のタイミングを図るようなモデル事業をやっている。このようなものが進むのではないかと考えている。
- D委員 農林課 P.8 KPIで外国人労働者を雇用する経営体数を挙げられているが、既存の企業のみも含むのか。現在、農業法人が1社ある。長崎県がN（エヌ）という外国人労働者をマッチングシステムがある。外国人を雇用する経営体が増えていくと思われる。
- 議長 外国人労働者という表現がどうか。KPIとして設定している分野は農業だけか。他の分野もあげる必要はないのか。
- A委員 数値目標に挙げられている市内従業者数は、製造業だけなのか。農業などは入らないのでは。
- 事務局 加工をしている水産、農業などは含まれる。
- 議長 P.8にある外国人の捉え方、表現について再度整理をしてお示ししたい。
- E委員 民泊の拡大支援とあるがどのような支援か。
- 樫山補佐 補助金の支援拡大という訳ではなく、受け入れ世帯数の拡大を考えている。
- E委員 補助金の支援だけでは、受け入れ民泊は増えない。公社も足で稼いで民泊数の拡大に努めているがなかなか増えない状況である。ぜひ、市にも一緒に足で稼いでいただきたい。

〔基本目標2 ひとの創生 について〕

- F委員 P.16に新規事業として「木育の推進」とあり、既に始められているが、目的と始めた経緯、担当課、KPIについて教えていただきたい。
- 子育て・こども課 木育については、昨年度から取り組みを始めている。子どもだけではなく、木と触れ合うことは人の心を豊かにすることは学会等でも言われていることから、子育てに木を取り入れるものである。木育推進計画を本年度策定することとしており、まずは、市民への木育の周知に取り組む。KPIについては、計画が策定できていないことから、今のところ設定していない。
- G委員 こども博でも、木育をテーマとした企画に子育て・こども課と相談しながら取り組んだ。これが何に繋がるのかは今のところはっきりとは答えられないが、木育を推進することで悪いことには繋がらないとは感じている。
- E委員 P.22に農山村での農地の支援事業とあるがどのような取り組みを考えておられるか。

- 農林課 現在のところ具体的な施策はない。地域の皆さまのご意見などを伺いながら検討したい。
- E委員 柚木川内の空き家を活用し、地域の人でそば打ちをしたり、山女魚の創作料理を提供することができないかと考えている。具体的になってくれば、市の協力をお願いしたい。
- G委員 P.4に基本目標のしごとの創生において、「賃金」「安定」「やりがい」などの『雇用の質』を確保・向上とあるが、企業側だけの努力だけではなく、行政も若者が何を求めているのか、どんなことに魅力を感じているのか調べているのか。そういうところを市が把握して企業に示せば、企業側として何ができるか検討することもされると思う。
- 議長 若者がどのようなことを感じているのか、高校生の考え方などについて、中上校長先生分かる範囲でお答えください。
- H委員 県から県内就職率を上げるように要請がきている。松高の県内就職率は、去年は40%代であったが、自宅から通勤できるところへの就職ということで、今年度は80%代を超えている。これは、まつナビなどを通じて、地元へ残りたいというような効果の表れではないかと考えている。問題は、専門学校・大学へ進学した生徒が卒業後、地元を採用する企業があるかだと思っている。生徒たちへは、魅力があるかないかは、魅力ある企業へ自分がすればいいと思える生徒を育てたい。
- G委員 行政側も情報収集し、把握をしていないと魅力ある仕事は創ることができない。魅力のある仕事を発信することも大事。
- 議長 ちゃんとリサーチしないといけない。
- I委員 企業へどうして欲しいとはなかなか言えない。

〔基本目標3 まちの創生 について〕

- 議長 まちの創生の部分については、地域運営組織というものを立ち上げてやる取り組みであるが隣の平戸市がやっている。行政に頼るのではなく自分たちの地域のことは自分たちで計画をたててやるというようなもの。

今日いただいたものを整理して、年内にもう一度、協議会を開催したい。次回、案を提示し意見をいただいて完成させたい。